

大学生の幸福度に関する試論

——名古屋市立大学の学生へのアンケート結果——

臼 杵 政 治*

要 旨

本稿では、名古屋市立大学学生へのインターネットアンケートを用いて、大学生における A. ふだんの幸福度, B. 小さい頃から今日までの苦楽, C. 昨日の (不) 愉快, という 3 つの幸福度の指標とさまざまな要因との関係を検証した。

結果をまとめると、第 1 に 3 つの幸福度の間には強い関係があった。第 2 にふだんの幸福度をみると、人間関係 (信頼できる友人の数, 両親の厳しさ, 交際相手の有無) との間に強い関係がある一方、経済状況 (収入・支出の多寡) との間には有意な関係がみられない。第 3 に授業の面白さとふだんの幸福度に強い関係がある反面で、授業の有用性, GPA, 大学の志望順位との関係は相対的に低かった。第 4 にふだんの幸福度と将来の仕事の目標との間には強い関係がみられた。次に経済学部生をそれ以外の学生と比較すると、授業への評価が低い一方、他の要因をコントロールすると、経済学部生であること自体が高い幸福度と関係する、傾向があった。

キーワード：アンケート調査, 主観的幸福, 経済学教育

JEL: Classification: A22, D69, I31, J20

1. 幸福度とその測定

1.1. 主観的幸福 (幸福度) 研究とその進展

社会学や心理学において長く重要な研究分野であった、人がどのような場合にどの程度幸福を感じるか、という主観的幸福 (Subjective Well Being) は 90 年代以降、経済学においても研究者の関心を集めている。その背景としては、70 年代から所得の増加が幸福度の増加に結

* 名古屋市立大学経済学研究科教授
Email: usuki@econ.nacoya-cu.ac.jp

びついていないという指摘がなされてきた中^{1) 2)}、先進国の GDP 成長率が鈍化してきたことがある。

実際、過去 10 年程度の間、客観的・主観的を問わず、GDP とは別に各国の幸福度を測る指標を開発しようという試みが進んできた。例えば、OECD では Better Life Index と呼ばれる指標を 2011 年から発表している。これは当時のサルコジ・フランス大統領の提案 (Better Life Initiative) によって、ステイグリッツ、センら著名な経済学者の協力により開発された幸福度の指標である。①物質面 (所得と富など)、②生活の質 (健康状態、ワークライフバランス)、③ (環境など) 持続可能性、に分類される 11 の指標であり、主観的幸福 (生活の満足度) は②に含まれている。また、米国の世論調査会社 Gallup では 05 年以降、世界 160 カ国以上の国民に各 100 程度の質問を送り、幸福度 (welfare) の状況を調査してきた。その中で現在の生活について、0 (不満足) から 10 (満足) までの梯子 (カントリルの梯子: Cantrill's Ladder) を想定すると何段目にあるか、という質問で主観的な幸福度をたずねている。当該調査の国別の回答と分析・評価を、2012 年から国際連合が World Happiness Report として発表している。また、主観的幸福だけでなく、信念、価値観、経済発展など価値観に関する質問を 90 カ国以上にわたる対象者に実施した調査³⁾ として、World Values Survey (世界価値観調査) がある。その他では、国際連合が World Happiness Report を公表する契機となったとされ、ブータン国が用いている Gross National Happiness (GNH) がある⁴⁾。これらの指標は、所得水準 (1 人あたり GDP) 以外に何を新たな政策目標にするかを論じる材料となっただけでなく、主観的幸福の研究材料ともなってきた。

かつて経済学では消費や労働、余暇などを経済主体が合理的に選択しているので、選択の結果である行動から選好が観察できると考えていた。しかし主観的幸福の研究では、行動経済学や一部の厚生経済学の考え方を反映し、さまざまな制約や非合理性により、そうした行動は必ずしも選好を反映してない前提で議論が進められている。実際にも幸福度の調査データを分析してみると、主観的幸福度と所得や家族関係、健康など幸福に関係しているとされる要因との

1) Easterlin (1974) 以来指摘されてきたように、一国の中では所得と幸福度に正の相関がみられるのに対し、国際比較・同一国の時系列比較では明確な関係がない、というパラドクスがある。果たしてパラドクスが存在するか、存在するならどの理由があるのか、が論争的となっている。

2) Diener, Kahaneman, and Helliwell (2010) は 1 人あたり所得水準がきわめて低い国では所得上昇は幸福度の上昇に寄与するが、その上昇は一定水準 (所得 1 万 5 千ドル程度) で頭打ちになる。所得が一定水準以上になるとその状態に慣れるからであり、「平等」、「社会とのつながり」が重要になるとする。

3) 1981 年にティルバーク大学 (蘭) の Ruud de Moor、ルーベンキリスト教大学 (ベルギー) の Jan Kerkhofs らが日本を含む 22 カ国を対象に開始した。現在は World Values Survey Association (Stockholm) が管理しており、データを公開している。

4) 9 つの分野 (心理面での幸福、健康、時間の使い方、教育、文化の多様性と保全、良いガバナンス、共同体の持続性、環境の多様性と保全、生活水準) における、33 の指標と 124 のインデックスから構成される多面的なインデックスである。地区別・男女別・年齢別・職業別に作成される。

関係が比較的安定していたとしている⁵⁾。

ここで岡部（2012）を参考に主観的幸福における日本（人）の位置づけをみておくと、国連（Gallup）World Happiness Report 12-14年調査で158国中46位、OECD（Better Life Index）の2012年版では36ヶ国中21位、World Values Surveyによる95-07年の主観的幸福度では97ヶ国中43位であり、どの調査でも先進国の中で幸福度が低い。

1.2. 主観的幸福の測定法

さて、伊藤（2013）によると、広い意味での幸福度の測定には、以下4つの質問の形式がある。

①幸福度：「あなたの幸福度は次のどのくらいと思いますか」

②生活満足度：「あなたはいまの生活にどのくらい満足していますか」

③考えうる段階：「0（底）から10（天）までの梯子を思い浮かべてください

10（天）があなたにとって可能なかぎりでの最良の生活、0（底）が最悪の生活として、あなたは今その梯子のどのステップにいますか」

④持っている感情（肯定・否定）：「昨日のどのような感情を感じましたか」、「昨日次のような感情を感じましたか。……」

①と②は幸福度に関する実証研究において普通に用いられる、何を幸福とするかについて特に制限のない、自由回答（オープンエンド）の質問であり、③は上述のGallup調査で用いられているカントリルの梯子（Cantrill's Ladder）である。また、④は直近の肯定的感情（楽しんだ、喜んだ、笑った）、否定的感情（悲しんだ、怒った、心配した、落ち込んだ）などの感情の有無を調べる質問である。これら4つの関係について、Diener et al.（2010）らの観察では、①～④はいずれも有意な相関があるものの、①幸福度は④の感情、②生活満足度は③カントリルの梯子、と特に相関が高いという。同様にGraham（2012）⁶⁾は例えば、アフガニスタンの個人ごとにみたデータなどでも、①と③の間に相関があるとする。

また、幸福度の測定に関するOECDのガイドライン（2013）によると、幸福度には、① life evaluation（生活満足度）、② affect（感情）、③ eudaimonic measures（人生の意味・目的の尺度）の3つがあり、①・②の尺度は比較的有用な情報を提供しているのに対して、③はどのような場合に高くなるのか、それほど明確ではない（“the picture with respect eudemonia as a whole is more ambiguous”）としている⁷⁾。

5) 同時にネットを通じたアンケートや統計ソフトの発達なども、研究進展の要因にあげられている（大竹・白石・筒井（2010）p. 76）。

6) 多田訳（2013）P. 128

7) 同様にDolan, R. Layard and R. Metcalfe（2011）では、幸福度尺度に・生活満足度、・直近の経験、・人生の意味（eudemonic）、の3つがあることを前提に、各々の質問方法や政策的インプリケーションに触れている。

2. 本稿の特徴：学生の主観的幸福度

2.1. 若者の幸福度

本稿は大学生の幸福度の検証を試みたものである。これまで社会学や心理学では学生の幸福度を分析した研究があり⁸⁾、また内閣府『子ども・若者白書』などでも若年層の意識の国際比較調査結果が公表されている。そこでは日本の若者は相対的に、・自信がない、・将来に悲観的である、・意欲が低い、などの特徴を持つとされている。経済学的な研究に目を転じると、1.で述べた幸福度調査では年代別の幸福度の推移を検証している。Helliwell et al. (2015) では、カントリルの梯子による幸福度は15～20歳が最も高く、その後徐々に低下し、男は35歳頃、女は50歳頃から横這いとなっている。また、Graham (2012) によると、人々が成長するに従い期待と現実が一致するため、年齢別の幸福度カーブは健康状態や結婚生活が安定していることを条件に、45歳頃をボトムとするU字カーブを描くという。

日本では、筒井・大竹・池田 (2005) が年齢別の幸福度の推移を明らかにしており、それによると、海外のようなU字あるいはL字の傾向はなく、30歳台以降は加齢とともに幸福度は徐々に低下する傾向にある。さらに内閣府 (2011) 『幸福度に関する研究会報告』参考資料1-2によれば、自らの幸福度を判定する場合、24歳までの若年層では、金銭面よりも家族や友人といった人間関係が重視されている。

なお、これまで大学生を分析対象とした幸福度の代表的な研究として、岩田 (2015) がある。本稿はそれにつづく、本学での試みと位置づけられる。

2.2. 本稿の特徴

本稿は全体として筒井・大竹・池田 (2009) の手法をモデルにしている。その上で以下2点の特徴を持つ。第1に幸福度を説明する要因の候補及び質問文の原案を学生自身に作成させている。第2に幸福度について、「ふだんのあなたはどの程度幸福だと思いますか」(以下、A. ふだんの幸福度、と呼ぶ) の他、「小さい頃から今日までの人生は楽しかったですか、それとも苦しかったですか」(以下、B. 小さい頃から今日までの苦楽、と呼ぶ) 「昨日はあなたにとって愉快的な日でしたか、それとも不愉快的な日でしたか」(以下、C. 昨日の(不)愉快、と呼ぶ) によって長期・短期の過去の幸福度(満足度)を尋ね、現在の(ふだんの)幸福度の関係をみていることにある。

結論として、第1に3つの幸福度の間には強い関係があった。第2にA. ふだんの幸福度

8) 例えば、吉武 (2011) は連続した3回(半年おき)のアンケート調査により、さまざまなライフイベントが生活満足度の変化にあたる影響を分析している

をみると、先行研究と同様に人間関係（信頼できる友人の数、両親の厳しさ、交際相手の有無）との間に強い関係がある一方、収入・支出の多寡の間には関係がみられなかった。第3に授業の面白さと強い関係がある反面で、授業の（将来の）有用性、GPA、大学の志望順位との関係は相対的に低かった。また、経済学部生をそれ以外の学生と比較すると、①授業への評価が低い、②通学時間が長くしかも長いほど、ふだんの幸福度が高い、③他の要因をコントロールすると、経済学部生であること自体が高い幸福度と関係する、傾向があった。

3. データと分析手法

3.1. アンケートデータの作成

今回の質問票ではその作成にあたり、2015年9月28日から1月末までの名古屋市立大学経済学部2年生向けの授業「基礎演習Ⅱ」の受講者24名に案を作成させた。すなわち、9月28日以降、3回にわたり幸福度調査について説明した後、24名を5つのグループに分け、幸福度に関係のあると考えられる質問項目を無作為に一度提出させた。それを学業、家族・友人、経済状況、私生活、過去・将来、に分類し、他のチームの解答を参考にしながら、それぞれの分類で最低3個、最大5個まで質問文と解答の選択肢を考えさせ、最終的には筆者がまとめた（10月12日から11月2日）。

Google Inc.（グーグル社）の提供しているGoogle Formを利用したネットアンケートを実施した。11月9日に同じ大学の友人に回答依頼を送付し（11月16日締め切り）、162名から回答を得た（うち経済学部生95名）。全質問文（質問票の順に並んでいる）は資料Ⅰに示した全29問であり、それらのうち、実際に分析に使った25問を、・3つの幸福度、・人間関係（家族と友人）、・経済状況（収入と支出）、・学業と入試、・自己評価と将来の目標、・プロフィール、に分類して並べ直して示した（表1）。

3.1.1. 作成にあたっての留意点

質問票作成の際、まず幸福度については、筒井・大竹・池田（2009）と同じ質問文によりA. ふだんの幸福度を尋ね、それに影響を及ぼす過去の幸福度を測るために、B. 小さい頃から今日までの苦楽、C. 昨日の（不）愉快、を尋ねた。B. 小さい頃から今日までの苦楽、は人生全体を考えている点で、人生の意義、その目的が充足されているかという意味を持つ幸福度（*eudaimonia*）にやや近いとも言えよう。またC. は、直近の経験の影響によるふだんの幸福度の評価のぶれをコントロールする効果が期待されている。

その他に留意した事項として、・ふだんの幸福度については、プロフィール（事実）の質問の直後に置く、・相互の干渉を避けるために「ふだんの幸福度」と他の2つの幸福度の質問を離す、・回答選択肢を偶数として否定的な回答から並べる（最初の選択肢や奇数の選択肢の真

表 1：単純集計結果

質問	回答選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	回答数	平均	標準偏差
(3つの幸福度) 6. ふだんのあなたはどの程度幸福だと思いますか、非常に幸福を10点、非常に不幸を1点として、何点ぐらいかにあてはまるか、1つ選んで答えてください	1		2	3	4	5	6	7	8	9	10	160	6.74	1.72
	0	0.0%	0.6%	3.8%	6.9%	15.0%	10.6%	25.0%	26.3%	8.1%	3.8%			
	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
26. 小さい頃から今日までの人生は楽しかったですか、それとも苦しかったですか、非常に楽しかったを10点、非常に苦しかったを1点として何点ぐらいいにあてはまるかを1つ選んでください	0	0.0%	1.3%	6.3%	8.1%	14.4%	11.9%	21.9%	23.8%	3.8%	8.8%	160	6.61	1.95
	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
	2	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
27. では、昨日はあなたにとって愉快な日でしたか、それとも不愉快な日でしたか、非常に愉快を10点、非常に不愉快を1点として何点ぐらいいにあてはまるかを1つ選んでください	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	160	6.43	2.58
	4	2.5%	4.4%	9.4%	8.8%	13.1%	13.8%	6.3%	15.0%	11.9%	15.0%			
	5人以上	3人か4人	1人か2人	ゼロ(ない)										
(人間関係) 8. 1万円を貸してくれと言われたらすぐに貸せる友人が何人いますか	60	37.5%	34	41	24	15.0%						159	2.18	1.1
	非常にそう思う	38	23.8%	70	38	14								
	あまりそう思う	3	1.9%	15	14	21	22	10	24	19	24			
11. あなたは将来、ご両親のような家庭を築きたいと思いますか	38	23.8%	70	38	14	8.8%						160	2.18	0.89
	全く厳しくない	66	41.3%	57	32	5								
	どちらかと言えば厳しくない	3	1.9%	15	14	21	22	10	24	19	24			
20. 親からの縛り(拘束)は厳しいですか	66	41.3%	57	32	5	3.1%						160	1.85	0.85
	全く厳しくない	3	1.9%	15	14	21	22	10	24	19	24			
	どちらかと言えば厳しくない	3	1.9%	15	14	21	22	10	24	19	24			
19. 現在、つきあっている異性はいますか(ダミー)	61	0.381	98	0.613								159	1.62	0.49
	いる	61	0.381	98	0.613									
	いない(選択肢0)													

質問	回答選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	回答数	平均	標準偏差
質問 (経済状況) 21. 過去1ヶ月、平均すると週に何 回くらいアルバイトをしています か	0回(していない)													
	15 9.4%	29 18.1%	96 60.0%	16 10.0%	3 1.9%							159	2.77	0.83
23. (小遣い・バイト代など) 自分の ために好きに使えるお金は1ヶ月 にどのくらいですか。学費・下宿 代・生活費などは除きます。	1万円未満													
	8 5.0%	36 22.5%	58 36.3%	39 24.4%	13 8.1%	6 3.8%	10万円 以上					160	3.19	1.14
25. 最近1年以内の自分で買った買 い物のうち、一番高価な物の値段 はいくらでしたか	1万円以下													
	25 15.6%	48.1%	13.1%	9.4%	6.3%	4.4%	10万円超 20万円以下	20万円 以上				160	2.68	1.5
(学業と入試) 12. 大学の授業の内容は将来役に立 つと思いますか	全く役に 立たない													
	2 1.3%	20.0%	13.8%	28.8%	46 28.8%	12 7.5%	非常に 役に立つ					160	3.86	1.28
13. 大学の授業の内容について面白 いと思ったことはどのくらいありま すか	全くない													
	1 0.6%	28.8%	62.5%	11 6.9%	2 1.3%		いつも面 白いと思う					160	2.79	0.63
14. 入学してから現在までのGPAは どのくらいですか	30以上													
	36 22.5%	113 70.6%	9 5.6%									158	1.84	0.5
28. 入学した年(センター試験直前) の1月1日時点で、あなたにたっ て名古屋立大学(在学している 学部)は第何位の志望校でしたか	第1 志望校													
	72 45.0%	55 34.4%	33 20.6%									160	1.76	0.77
(自己評価・目標) 16. あなたは周囲の同年代の人と比 べて、頭が良いと思いますか	全く 良くない													
	7 4.4%	16.9%	20.0%	32 36.9%	30 18.8%	5 3.1%	非常に 良い					160	3.58	1.19
17. あなたは周囲の同年代の人と比 べた場合、外見(容貌や服装など) が優れていると思いますか	全く優れ ていない													
	18 11.3%	26.3%	27.5%	44 27.5%	44 27.5%	11 6.9%	非常に優 れている	非常に 良い	1 0.6%			160	2.94	1.15

質問	回答選択肢	2	3	4	5	6	7	8	9	10	回答数	平均	標準偏差
24. 将来どんな仕事に就きたいかという目標は明確ですか	1 全く明確ではない	あまり明確ではない	どちらかと言えば明確ではない	どちらかと言えば明確である	まあまあ明確である	非常に明確である					160	3.55	1.67
		44 27.5%	16 10.0%	25 15.6%	33 20.6%	25 15.6%							
(プロフィール他) 1. あなたの現在の学年を選択してください	1 1年生	2年生	3年生	4年生							160	2.46	0.84
		99 61.9%	25 15.6%	28 17.5%									
2. あなたの学部を教えてください	1 経済学部	人文社会学部	医学部	薬学部	看護学部	芸術工学部					160	1.83	1.3
		35 21.9%	9 5.6%	7 4.4%	12 7.5%	2 1.3%							
3. あなたの身長は何cmでしょうか。回答欄に入力してください	1 選択肢なし(数値で回答)										160	164.41	15.49
4. あなたの通学時間はどのくらいでしょうか	1 30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1.5時間未満	1.5時間以上 2時間未満	2時間以上						160	2.2	1.1
		42 26.3%	44 27.5%	14 8.8%	5 3.1%								
5. 現在大学には家族の所から通っていますか、それとも下宿・寮から通っていますか	1 家族の所	下宿・寮									160	1.27	0.44
		43 26.9%											
10. 学内・学外を問わずサークルや部活に入っていますか、以下から1つだけ選んでください	1 入っていない(体育系だけ)	入っている(文化系だけ)	入っている(体育系・文化系両方)	どちらも入っていない							160	1.61	1.04
		18 69.4%	13 8.1%	18 11.3%									
15. 最近1ヶ月の1日あたり平均睡眠時間はどのくらいですか	1 6時間未満	6時間以上 7時間未満	7時間以上 8時間未満	8時間以上 9時間未満	9時間以上						159	1.97	0.92
		54 33.8%	67 41.9%	31 19.4%	3 1.9%	4 2.5%							
29. 性別を教えてください	1 男性(=0)	女性(=1)									160	0.538	0.500
		86 53.8%	74 46.3%										

(注) 左端行の各文章の先頭にある数値はアンケートの際の質問の番号である。
(出所) 筆者作成

ん中に回答が集中するのを避けるため)、・本稿の検証と関係のない芸能(音楽)関係の4つの質問を入れる、などがある。最後の点は集計結果を見るために回答しようというインセンティブを高めるとともに、分析対象の質問間相互の干渉を和らげる効果を図る、意図があった。

3.1.2. 質問の概要

3つの幸福度の質問は上述の通りである。それらに関係すると考えられる要因のうち、まず人間関係の質問「1万円を貸してくれと言われたらすぐに貸せる友人が何人いますか」は、(返してくれると)信頼できる友人の数の問いを「親友」という言葉より具体的にイメージした質問をしたものである。また、「将来、ご両親のような家庭を築きたいと思えますか」と「親からの縛り(拘束)は厳しいですか」は、家庭環境や親との関係を尋ねている。後者の質問は学生の提案によるもので、両親との間の信頼関係を測る目的で設定した。当初は縛りが緩いほど幸福度が高い、と想定していたが、実際には縛りが厳しいほど幸福度が高い結果となった。他に「現在、つきあっている異性はいますか」という質問を入れている。

経済状況では、収入について「過去1ヶ月、平均すると週に何回くらいアルバイトをしていますか」、支出について「最近1年以内の自分で払った買い物のうち、一番高価な物の値段はいくらでしたか」、両者を兼ねた「自分のために好きに使えるお金は1ヶ月にどのくらいですか」を設けた。

学業(入試)では、授業について「大学の授業の内容は将来役に立つと思えますか」(以下、授業の有用性、と呼ぶ)、「大学の授業の内容について面白い思ったことはどのくらいありますか」(以下、授業の面白さ、と呼ぶ)、「入学してから現在までのGPAはどのくらいですか」、「入学した年(センター試験直前)の1月1日時点で、あなたにとって名古屋市立大学(在学している学部)は第何位の志望校でしたか」(志望順位)を入れた。

さらに自己評価として「あなたは周囲の同年代の人と比べて、頭が良いと思えますか」「あなたは周囲の同年代の人と比べた場合、外見(容姿や服装など)が優れていると思えますか」を質問し、人生の目標として「将来どんな仕事に就きたいかという目標は明確ですか」を入れている。

最後にプロフィール他として、学部、学年の他、身長、性別、さらにサークル(体育系、文化系)への所属、睡眠時間(最近1ヶ月の1日あたり平均睡眠時間はどのくらいですか)、通学時間(あなたの通学時間はどのくらいでしょうか)を尋ねた。また、自由な時間を計る尺度として家族との同居・別居(現在大学には家族の所から通っていますか、それとも下宿・寮から通っています)、を聞いている。プロフィールの質問には、同一人物による複数回答をチェックする狙いもある。

3.2. 分析手法

以下、まず、各質問の単純集計結果を見た上で、ふだんの幸福度とそれに関係があると考えられる要因について尋ねた質問の回答との関係をグラフ化し、どのような関係がどの程度あるかの、イメージを掴む。次に A, B, C, 3つの幸福度と他の要因（の選択肢）の間の単相関係数を検証する。さらにふだんの幸福度を被説明変数とする、順序ロジット回帰によって、より有意な関係があるのはどの要因かをみる。最後に経済学部生と他の学生との違いを平均値の差の検定、などにより検証した。

4. 分析結果

4.1. 単純集計とグラフによる概観

質問とその単純集計結果は前出表1の通りである。A. ふだんの幸福度の平均値は6.74（男性6.67, 女性6.84）であった。筒井・大竹・池田（2009）の全年齢での男性6.27, 女性6.51や同調査の20歳台の6.4に比べても高い。また、学部別・学年別の幸福度は表2の通りであった⁹⁾。

図1は、縦軸にA. ふだんの幸福度（問6:ふだんのあなたはどの程度幸福だと思いますか、への回答選択肢の平均値）を置き、横軸に幸福度に関係のあると思われる要因への回答による分布を示したグラフである。

表2：学部別・学年別の幸福度（いずれも最高を10, 最低を1とした場合の平均値）

学部別の3つの幸福度（平均値）					学年別の3つの幸福度（平均値）				
学部	人数	6. ふだんの幸福度	26. 小さい頃から今日までの苦楽	27. 昨日の(不)愉快	学年	人数	6. ふだんの幸福度	26. 小さい頃から今日までの苦楽	27. 昨日の(不)愉快
人社	35	6.6	6.4	6.4	1年	8	7.8	7.8	6.9
医学	9	7.3	7.7	6.8	2年	99	6.6	6.6	6.2
薬学	7	6.6	6.3	4.9	3年	25	6.9	6.2	6.7
看護	12	6.8	6.8	7.8	4年	28	6.8	6.8	6.8
芸工	2	5.5	6.5	7.0					
経済	95	6.8	7.8	8.8					

(出所) 筆者作成

9) A. ふだんの幸福度, では医学部生 (平均7.3), B. 小さい頃から今日までの苦楽では医学部生 (同7.7), 経済学部生 (7.8), C. 昨日の愉快, では経済学部生 (同8.8)が高かった。ただし, 経済学部生を除いてはサンプル数も少なく, その分析については今後の課題としたい。

図1の末尾にあるように、男性(6.67)よりも女性(6.82)の方がふだんの幸福度がやや高い。ただし後述のように、他の要因をコントロールすると、性別は有意な差をもたらさなかった。その他の特徴としては、①家族のところから通っている方がそうでないよりも幸福度が高く(問5)、②1万円を貸せる友人の数(問8)が多いほど幸福度が高い。同様に③体育会系・文化系にかかわらず、サークルに入っているほど(問10)、④両親のような家庭を築きたいと思うほど(問11)、⑤授業に面白さ、または有用性があると思うほど(問12 & 13)、⑥GPAが高いほど(問14)、⑦頭の良さや外見に自信があるほど(問16 & 17)、⑧アルバイトをやっている方がやっていないよりも(問21)、⑨将来の仕事の目標が明確であるほど(問24)、⑩名古屋市立大学の志望順位が高いほど(問28)、ふだんの幸福度が高いことが見てとれる。

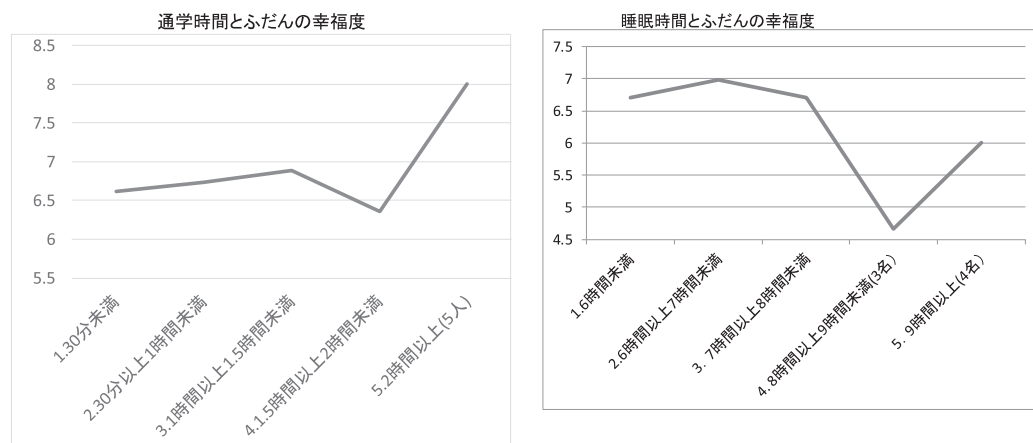
他方、質問を作成した時点の予想と反対の結果として、①通学時間が長い方が短いよりも(問4)、②つきあっている異性がいるよりもいない方が(問19)、③親からの縛り(拘束)が緩いよりも厳しい方が(問20)、幸福度が高い。また、①自由に使えるお金(小遣い)の額(問23)、②過去1年間の最も高価な買い物の額(問25)、についてはグラフで見る限りでは幸福度との関係は見られなかった。

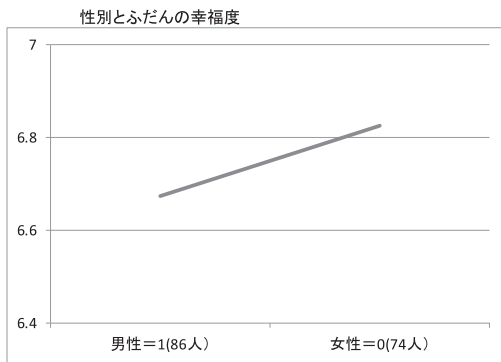
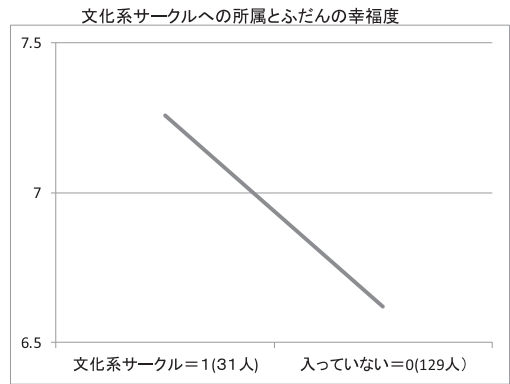
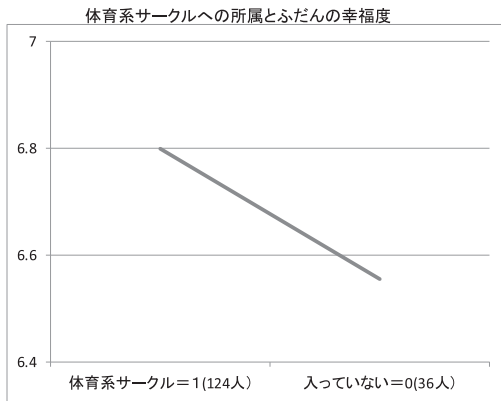
4.2. 相関分析

次に3つの幸福度(A. ふだんの幸福度, B. 小さい頃から今日までの苦楽, C. 昨日の(不愉快さ)についてそれら3つの間、及びさまざまな属性あるいは幸福度に関係のあると思われる要因(への質問)への回答と単相関係数をみた(表3)。

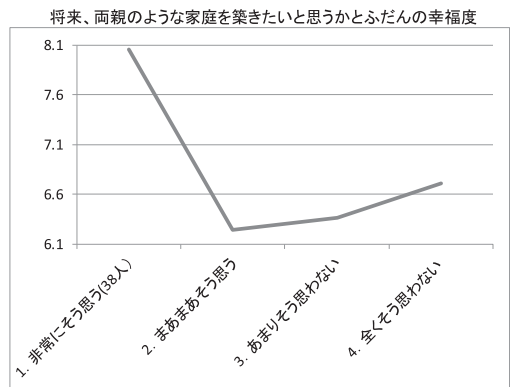
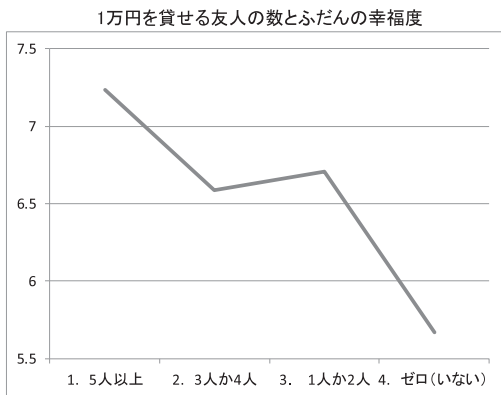
まず、3つの幸福度の間の相関係数はどれも正であり、1.0%水準で有意であった。小さい頃

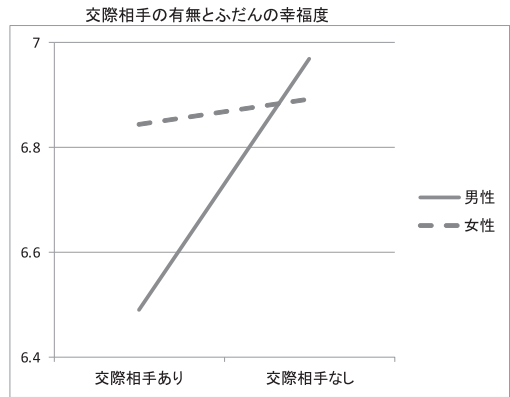
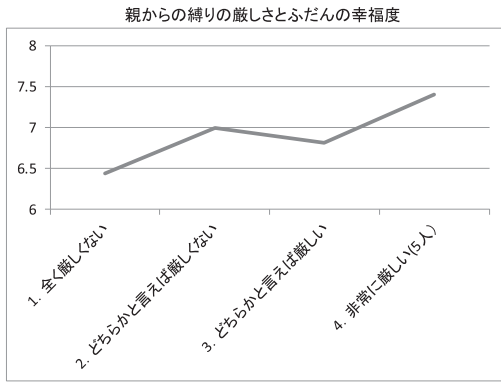
図1：ふだんの幸福度と各要因の関係—グラフによる検討
(プロフィール他)



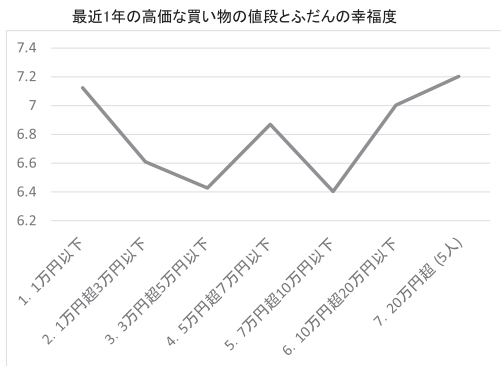
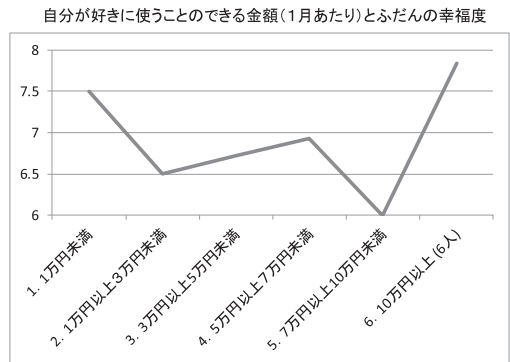
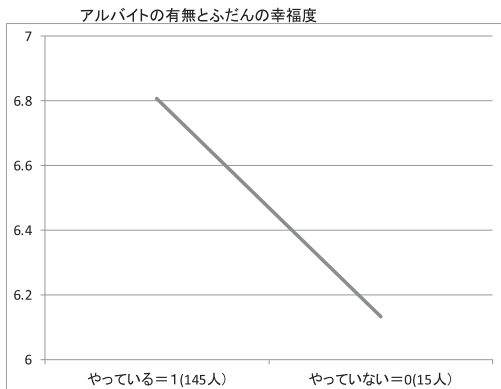


〈人間関係〉



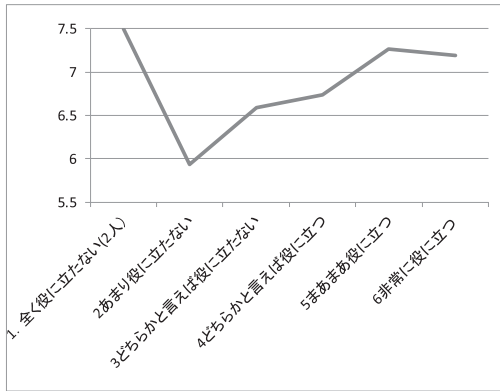


〈経済状況〉

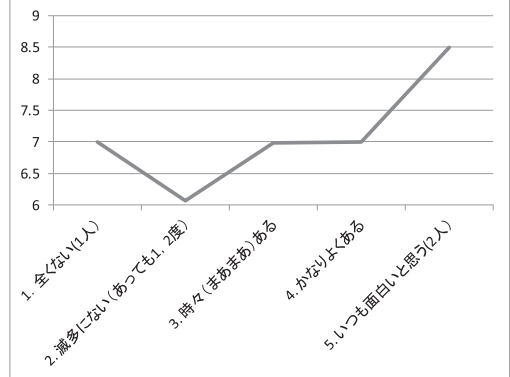


〈学業と入試〉

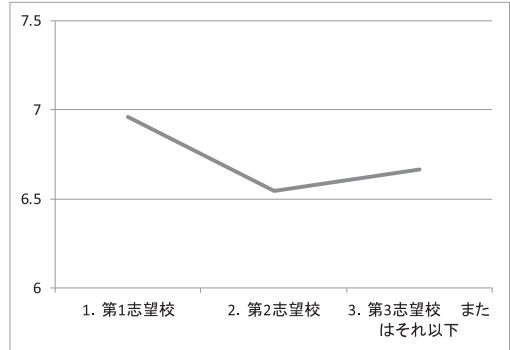
授業内容が将来、役に立つと思うかとふだんの幸福度



授業内容が面白いと思ったことがあるか、とふだんの幸福度

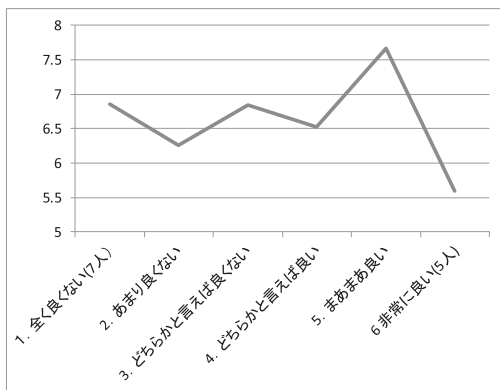


名古屋市立大学の志望順位とふだんの幸福度

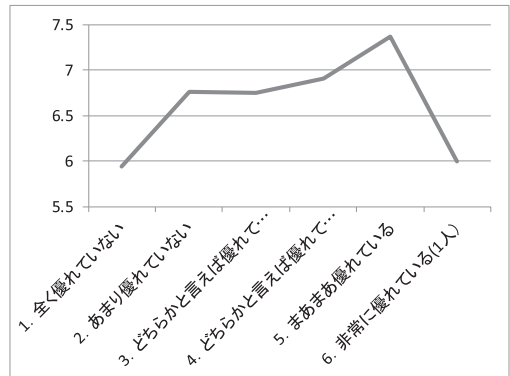


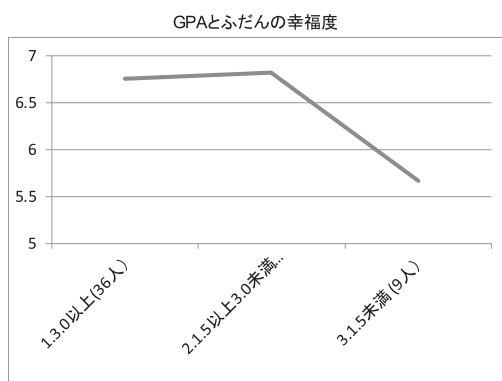
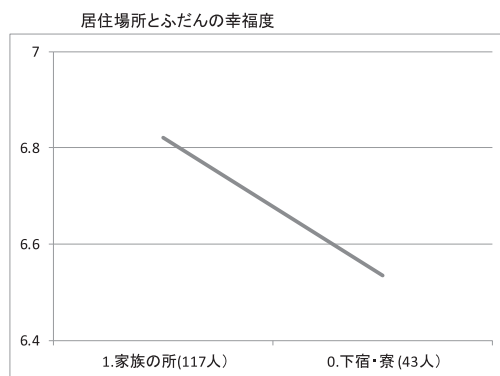
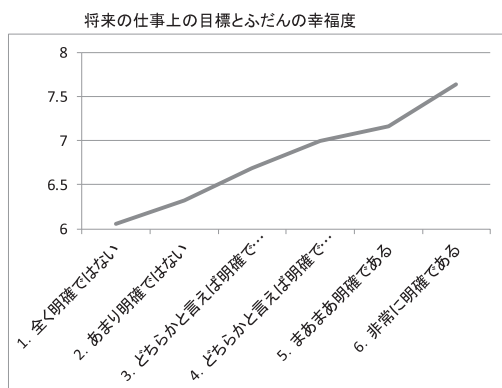
〈自己評価・目標〉

頭の良さについての自己評価とふだんの幸福度



外見についての自己評価とふだんの幸福度





から今日までの苦楽や昨日の愉快さ、と現在の（ふだんの）幸福度との間に密接な関係が存在している。次に A. ふだんの幸福度、と有意な相関がある要因には、①文化系サークルへの所属（10%水準）、②1万円を貸せる友人の数（1%水準）、③両親のような家庭を築きたい（1%水準）、④授業の面白さや及び授業の有用性（いずれも1%水準）、⑤外見についての高い自己評価（10%水準）、⑦将来の仕事の目標の明確さ（1%水準）があった。いずれも関係があることがグラフでも確認されている要因である。他方で、交際相手あり、収入支出関連（自由になるお金、アルバイトの回数、過去1年で最も高価な買い物）、名古屋市立大学の志望順位との相関係数は、どれも有意ではなかった。

B. 小さい頃から今日までの苦楽、においても、有意な相関がある要因はほぼ同じである。ただし、文化系サークルへの所属及び1万円を貸せる友人の数、との相関係数は有意ではなかった。一方、睡眠時間とは5%水準でマイナスの相関があり、過去が楽しかった人ほど現在の睡眠時間が短い関係がみられた。C. 昨日の（不）愉快、の他の要因も上記二者とほぼ同じ結果である。ただし、①授業の面白さや有用性との相関係数が10%水準での有意にとどまり、②将来の仕事の目標の明確さ、との相関係数は有意ではない、という特徴があった。後者については、将来の仕事の目標の明確さ、を人生の意味・目的を問うような（eudaimonic な）質

表 3：3つの幸福度と関連要因との相関係数

質問	ふだんの幸福度	小さい頃から今日までの苦楽	昨日の(不)愉快
〈3つの幸福度〉			
ふだんの幸福度	……	0.549***	0.441***
小さい頃から今日までの苦楽	0.549***	……	0.436***
昨日の(不)愉快	0.441***	0.436***	……
〈人間関係〉			
1万円を貸せる友人の数(番号が小さいほど多い)	- 0.276***	- 0.084	- 0.015
両親のような家庭を築きたいか(番号が小さいほど築きたい)	- 0.265***	- 0.315***	- 0.216***
親からの縛り(拘束)は厳しいか	0.124	0.052	- 0.034
交際相手の有無	- 0.080	- 0.013	- 0.013
〈経済状況〉			
アルバイトの頻度	0.035	0.034	0.116
自分のために好きに使えるお金	0.013	0.065	- 0.106
最近1年以内の一番高価な買い物の値段	0.039	- 0.101	- 0.089
〈学業と入試〉			
授業の有用性	0.239***	0.206***	0.148*
授業の面白さ	0.237***	0.177**	0.145*
GPA(番号が小さいほど高い)	- 0.073	0.081	- 0.092
名古屋市立大学志望順位(番号が小さいほど志望順位が高い)	- 0.075	- 0.071	- 0.108
〈自己評価・目標〉			
頭の良さの自己評価	0.113	0.049	- 0.021
外見の自己評価	0.148*	0.001	- 0.070
将来の仕事の目標の明確さ	0.263***	0.251***	0.115
〈プロフィール他〉			
学年	- 0.014	- 0.026	0.069
経済学部(ダミー)	0.017	- 0.021	- 0.044
身長	- 0.070	- 0.114	- 0.186**
通学時間	0.070	0.077	- 0.053
家族同居ダミー	0.074	0.032	0.008
体育系サークル	0.059	0.070	- 0.032
文化系サークル	0.147*	0.057	0.078
睡眠時間	- 0.082	- 0.187**	0.014
性別(男性ダミー)	- 0.044	- 0.050	- 0.108

(出所) 筆者作成

問とすれば、直近の経験による幸福度と関係が低いのは Dolan, Layard, and Metcalfe (2011) などが指摘しているところである。

以上をまとめると、3つの幸福度尺度の全てにおいて、有意な相関を持つ要因は、・両親のような家庭を築きたい、・授業の有用性及び面白さ、の3つであり、さらに A. ふだんの幸福度、と5%水準で有意な相関を持つ要因として、1万円を貸せる友人の数、将来の仕事の目標の明確さ、の2つがあった。

4.3. 順序プロビットによる回帰分析

回答者全体を対象とする最後の分析として A. ふだんの幸福度, を被説明変数とし, 説明変数に各要因への回答の数値 (幸福度を除く計 25 個) と他の 2 つの幸福度, を用いた順序プロビット回帰により, 各要因と幸福度の関係の強さを分析した. 結果を表 4 に示している. モデル (1) は説明変数に B. 小さい頃から今日までの苦楽, C. 昨日の (不) 愉快, の両方を含み, (2) は両者を除いたモデル, (3) は説明変数に B. 小さい頃から今日までの苦楽, だけを入れたモデルであり, (4) では C. 昨日の (不) 愉快, だけを入れている.

モデル (1) ~ (4) の結果では, 人間関係に関する変数のうち, 1 万円を貸せる友人の数 (多いほど幸福度が高い), 親からの縛りの強さ (強いほど幸福度が高い), 両親のような家庭を築きたい (築きたいほど幸福度が高い), の係数がいずれも 1% ~ 10% 水準で有意となった. 他方, 交際相手ありダミーの係数は 10% 水準ながら, (1) ~ (4) のどれもマイナスで有意となり, 交際相手があるとふだんの幸福度が低下することになる. 収入・支出に関する変数の係数はほとんど有意とはならなかった. 学業・入試に関する変数では, 授業の面白さだけが 5% 水準で有意となり, 授業の有用性や GPA の係数は有意ではなかった. 大学の志望順位の係数は想定されているマイナスの符号であり, モデル (2) 及びモデル (4) において 10% 水準で有意であった. モデル (2) および (4) では, 説明変数に B. 小さい頃から今日までの苦楽, を含んでおらずそこで, 10% 水準で有意となっている点を見ると, 志望順位を落として名古屋市立大学を受験・入学したことと, B. 小さい頃から今日までの苦楽, において苦しかったこと, が同じ効果を持っている可能性がある. 自己評価に関する係数は, 外見・賢さのいずれも有意とはならなかった. 将来の仕事の目標の明確さ, の係数は (1) ~ (4) のいずれでも有意であった. このように名古屋市立大学の学生において, A. ふだんの幸福度, に明確に関連している要因には, ・両親及び友人との関係, ・授業の面白さ, ・将来の仕事の目標の明確さ, があつた. 単相関係数が有意であった, ・授業の有用性, や ・外見の自信, の係数は有意ではなく, 名古屋市立大学の志望順位とは, ある程度関係があつた. 最後にプロフィールのうち, 文化系サークルへの所属が幸福度と有意な関係にあつた.

次に B. 小さい頃から今日までの苦楽, を被説明変数とするモデル (5) をモデル (1) ~ (4) と比べると, ①平均睡眠時間の係数が 5% 有意 (睡眠時間が短いほど過去が楽しかった) となり, ②人間関係のうち, ・1 万円を貸せる友人の数, と ・両親からの縛り, が有意ではなくなった, ③ GPA の係数が正で 10% 有意となった, という特徴がある. 3 点目は 「GPA が低い人ほど過去が楽しかった」ということになる. 最後に C. 昨日の楽しさ, を被説明変数とするモデル (6) において, 係数が有意な説明変数は, ①両親のような家庭を築きたい, と, ②アルバイトの回数 (1% 水準で有意, 回数が多いほど愉快) の 2 つであり, 人間関係に関する他の変数や授業の面白さなどの係数は有意ではなかった.

表 4：幸福度を被説明変数とする順序プロビット回帰の結果（括弧内は p 値。***, **, * はそれぞれ係数が 1%, 5%, 10% 有意）

説明変数 (幸福度)	モデル 被説明変数	(1) ふだんの幸福度	(2) ふだんの幸福度	(3) ふだんの幸福度	(4) ふだんの幸福度	(5) 小さい頃から 今日までの苦楽	(6) 昨日の (不) 愉快
小さい頃から今日までの苦楽		0.250 (0.000)*** 0.173 (0.000)***		0.328 (0.000)***	0.230 (0.000)***		
昨日の (不) 愉快							
〈人間関係〉 1 万円を貸せる友人の数 (番号が小さいほど多い)		-0.445 (0.000)*** -0.208 (0.062)*	-0.385 (0.000)*** -0.378 (0.000)***	-0.397 (0.000)*** -0.229 (0.039)**	-0.450 (0.000)*** -0.298 (0.006)***	-0.089 (0.239) -0.376 (0.000)***	0.022 (0.800)** -0.266 (0.011)
両親のような家庭を築きたいか(番号が小さいほど築きたい)		0.430 (0.001)*** -0.363 (0.064)*	0.392 (0.002)*** -0.321 (0.066)*	0.369 (0.004)*** -0.338 (0.083)*	0.463 (0.000)*** -0.359 (0.067)*	0.155 (0.213) -0.018 (0.923)	-0.021 (0.887) 0.020 (0.917)
親からの縛り (拘束) は厳しいか							
実際相手あり							
〈経済状況〉 アルバイトの頻度		0.067 (0.611) -0.138 (0.142)	0.215 (0.089)* -0.137 (0.131)	0.197 (0.122) -0.183 (0.047)	0.036 (0.783) -0.090 (0.330)	0.096 (0.442) 0.043 (0.638)	0.373 (0.006)*** -0.139 (0.122)
自分のために好きに使えるお金		0.087 (0.189)	0.053 (0.408)	0.091 (0.162)	0.059 (0.365)	-0.070 (0.281)	0.003 (0.960)
最近 1 年以内の一番高価な買い物の値段							
〈学業と入試〉 授業の有用性		-0.032 (0.720) 0.485 (0.012)**	0.022 (0.800) 0.451 (0.018)**	-0.008 (0.930) 0.438 (0.022)**	-0.019 (0.832) 0.506 (0.009)***	0.066 (0.444) 0.118 (0.526)	0.069 (0.414) 0.040 (0.831)
授業の面白さ		-0.178 (0.361) -0.205 (0.110)	-0.088 (0.636) -0.239 (0.057)	-0.301 (0.116) -0.191 (0.133)	0.008 (0.966) -0.243 (0.066)*	0.349 (0.063) -0.148 (0.235)	-0.226 (0.227) -0.064 (0.604)
GPA (番号が小さいほど高い)							
名古屋市立大学志望順位(番号が小さいほど志望順位が高い)							
〈自己評価・目標〉 頭の良さの自己評価		0.019 (0.830) 0.135 (0.142)	0.004 (0.965) 0.058 (0.520)	0.000 (0.999) 0.103 (0.257)	0.029 (0.745) 0.113 (0.215)	-0.026 (0.764) -0.051 (0.563)	-0.069 (0.433) -0.098 (0.235)
外見の自己評価		0.135 (0.038)**	0.200 (0.002)***	0.126 (0.053)*	0.188 (0.003)***	0.206 (0.001)***	0.076 (0.212)
将来の仕事の明確さ							
〈プロフィール他〉 学年		-0.112 (0.378) 0.546 (0.013)**	-0.075 (0.548) 0.490	-0.047 (0.706) 0.473	-0.151 (0.234) 0.582	-0.088 (0.474) 0.191	0.150 (0.219) -0.066
経済学部 (ダミー)		0.019 (0.906) 0.142 (0.209)	-0.006 (0.746) 0.153 (0.169)	0.009 (0.638) 0.113 (0.313)	0.013 (0.497) 0.178 (0.114)	-0.031 (0.081)* 0.107 (0.328)	-0.034 (0.056)* 0.020 (0.854)
身長		0.042 (0.878) -0.034 (0.888)	(0.066) (0.805) 0.155 (0.554)	0.119 (0.661) -0.043 (0.872)	-0.025 (0.927) b	-0.056 (0.831) 0.439 (0.091)*	0.176 (0.507) 0.098 (0.703)
家族同居ダミー		0.579 (0.039)** 0.114 (0.236)	0.791 (0.004)*** 0.012 (0.910)	0.629 (0.024)** 0.140 (0.192)	0.672 (0.016)** 0.017 (0.876)	0.528 (0.051)* -0.234 (0.025)**	0.432 (0.104) 0.024 (0.818)
体育系サークル		0.047 (0.881)	0.272 (0.377)	0.152 (0.626)	0.091 (0.770)	0.353 (0.250)	0.433 (0.157)
文化系サークル							
睡眠時間							
性別 (男性ダミー)							
サンプル数		153	153	153	153	153	153
擬似 R2 乗		0.219	0.125	0.188	0.186	0.087	0.043
AIC		3.356	3.680	3.457	3.463	4.021	4.622
対数尤度		-223.746	-250.502	-232.426	-232.932	-276.607	-321.564

(出所) 筆者作成

4.4. 経済学部生とそれ以外の学生との比較

最後に経済学部生（95人）とそれ以外の学生（65人）の解答から経済学部生の特徴を検証した。

4.4.1. 平均値の差

まず、それぞれの解答（番号）について、経済学部生とそれ以外の平均値を比較した（表5）。まず、3つの幸福度については、経済学部生とそれ以外に有意な差はなかった。その他の点で他学部生と有意に異なる経済学部生の特徴を抜き出すと、以下の5点があげられる。

- ・アルバイトをしている割合が高く（5%有意）、自由に使えるお金が多い（1%有意）。
- ・体育会系サークルに入っている割合が低い（5%有意）
- ・授業への評価（面白さ、有用性）がいずれも低い（いずれも1%有意）
- ・将来つきたい仕事の目標が明確ではない（5%有意）
- ・外見について自己評価が低く（10%水準）、頭の良さの自己評価においては有意な差はない。

4.4.2. プロビット回帰

次に経済学部生だけをサンプルとして実施した、幸福度を被説明変数とするプロビット回帰分析の結果を示す（表6）。モデル（1）～（6）の構成は、上述した、学生全体をサンプルとする4.3.表4と同じである。

A. ふだんの幸福度、の分析結果をみると、係数が有意な説明変数は、全体をサンプルとする分析とほぼ同じである。特に、・信頼できる友人の数、・親からの縛りの厳しさ、がいずれも1%または5%で有意であり、一方で、交際相手有りダミーの係数はやはりマイナスで、しかもふだんの幸福度の説明変数として、4つのうち3つのモデルで有意となった。これらからもわかるように人間関係を重視している傾向は全体と同じであった。全体をサンプルとする場合との相違として、以下の4点がある。

- ・睡眠時間が長いほど、ふだんの幸福度が高い（モデル（1）、（3）で5%有意）
- ・（なぜか）通学時間が長いほどふだんの幸福度が高い（モデル（1）～（4）で係数が1%、5%水準で有意）。
- ・授業の面白さ、および将来の仕事の目標の明確さ、の係数は複数のモデルで有意であったものの、全学生をサンプルとした4.3.と比較すると、係数が有意となったモデルの数、係数の有意水準のいずれをみても、ふだんの幸福度との関係はそれほど明確ではなかった。
- ・名古屋市立大学の志望順位の係数は有意ではなかった。

5. 考察とまとめ

本稿では、名古屋市立大学の学生へのインターネットアンケート（Google Form）を用いて、

表 5：経済学部生とそれ以外の回答の差（平均値の差） ***, **, *はそれぞれ差が 1%, 5%, 10%有意を表す

項目	①経済	②他学部	差 ①-②	p 値
〈3つの幸福度〉				
ふだんの幸福度	6.768	6.708	0.061	0.826
小さい頃から今日までの苦楽	6.579	6.662	- 0.083	0.792
昨日の（不）愉快	6.337	6.569	- 0.232	0.578
〈人間関係〉				
1万円を貸せる友人の数（番号が小さいほど多い）	2.234	2.108	0.126	0.476
両親のような家庭を築きたいか（番号が小さいほど築きたい）	2.179	2.169	0.010	0.946
親からの縛り（拘束）は厳しいか	1.789	1.938	- 0.149	0.296
交際相手あり	0.606	0.631	- 0.024	0.757
〈経済状況〉				
アルバイトの頻度	2.884	2.594	0.290	0.035 **
自分のために好きに使えるお金	3.389	2.908	0.482	0.009 ***
最近1年以内の一番高価な買い物の値段	2.832	2.462	0.370	0.117
〈学業と入試〉				
授業の有用性	3.558	4.308	- 0.750	0.000 ***
授業の面白さ	2.632	3.031	- 0.399	0.000 ***
GPA（番号が小さいほど高い）	1.874	1.762	0.112	0.165
名古屋市立大学志望順位（番号が小さいほど志望順位が高い）	1.811	1.677	0.134	0.285
〈自己評価・目標〉				
頭の良さの自己評価	3.537	3.646	- 0.109	0.575
外見の自己評価	2.832	3.108	- 0.276	0.140
将来の仕事の目標の明確さ	3.274	3.954	- 0.680	0.011 **
〈プロフィール他〉				
学年	2.379	2.569	- 0.190	0.164
身長	165.074	165.966	- 0.892	0.509
通学時間	2.389	1.923	0.466	0.007 ***
家族同居ダミー	0.811	0.615	0.195	0.009 ***
体育系サークル	0.716	0.862	- 0.146	0.034 **
文化系サークル	0.158	0.246	- 0.088	0.182
睡眠時間	2.043	1.862	0.181	0.225
性別（男性ダミー）	0.558	0.508	0.050	0.535

（出所）筆者作成

A. ふだんの幸福度（ふだんのあなたはどの程度幸福だと思いますか）、B. 小さい頃から今日までの苦楽（小さい頃から今日までの人生は楽しかったですか、それとも苦しかったですか）、C. 昨日の（不）愉快（昨日はあなたにとって愉快な日でしたか、それとも不愉快な日でしたか）、という3つの幸福度の指標とさまざまな要因との関係を検証した。

結果をまとめると、第1に3つの幸福度の間には強い関係がある。第2にふだんの幸福度をみると、人間関係（信頼できる友人の数、両親の厳しさ、交際相手の有無）との間に強い関係がある一方、経済状況（収入・支出の多寡）との間には関係がみられていない。第3に授業への評価の中で特にその面白さとふだんの幸福度に強い関係がある反面で、授業の有用性、GPA、大学の志望順位との関係は相対的に低かった。第4にふだんの幸福度と将来の仕事の

表6：経済学部生を対象とする順序プロビット回帰の結果（括弧内はp値。***, **, *はそれぞれ係数が1%, 5%, 10%有意）

説明変数 (幸福度)	(1) ふだんの幸福度	(2) ふだんの幸福度	(3) ふだんの幸福度	(4) ふだんの幸福度	(5) 小さい頃から 今日までの苦楽	(6) 昨日の(不)愉快
小さい頃から今日までの苦楽 昨日の(不)愉快	0.370 (0.000)*** 0.207 (0.001)***		0.454 (0.000)***	0.277 (0.000)***		
〈人間関係〉 1万円を貸せる友人の数(番号が小さいほど多い) 両親のような家庭を築きたいか(番号が小さいほど築きたい) 親からの縛り(拘束)は厳しいか 交際相手あり	-0.470 (0.000)*** -0.089 (0.337) 0.568 (0.005)*** -0.488 (0.059)*	-0.436 (0.000)*** -0.299 (0.028)** 0.427 (0.020)** -0.473 (0.056)*	-0.487 (0.000)*** -0.132 (0.355) 0.461 (0.020)** -0.347 (0.169)	-0.419 (0.001)*** -0.193 (0.167) 0.573 (0.004)*** -0.623 (0.014)**	-0.070 (0.557) -0.353 (0.010)** 0.093 (0.628) -0.346 (0.162)	-0.179 (0.134) -0.274 (0.043)** -0.120 (0.524) 0.180 (0.459)
〈経済状況〉 アルバイトの頻度 自分のために好きに使えるお金 最近1年以内の一番高価な買い物の値段	0.197 (0.339) 0.052 (0.669) 0.076 (0.059)	0.259 (0.180) -0.001 (0.992) 0.038 (0.635)	0.398 (0.044)** -0.054 (0.642) 0.091 (0.230)	0.027 (0.891) 0.123 (0.297) 0.030 (0.707)	-0.135 (0.479) 0.075 (0.520) -0.081 (0.312)	0.470 (0.015)** -0.223 (0.051)* 0.030 (0.704)
〈学業と入試〉 授業の有用性 授業の面白さ GPA(番号が小さいほど高い) 名古屋市立大学志望順位(番号が小さいほど志望順位が高い)	-0.096 (0.421) 0.576 (0.048)** -0.286 (0.248) -0.240 (0.175)	0.061 (0.594) 0.458 (0.106) -0.161 (0.498) -0.231 (0.180)	-0.020 (0.863) 0.554 (0.055)* -0.404 (0.099)* -0.268 (0.127)	-0.056 (0.633) 0.500 (0.083)* -0.065 (0.785) -0.206 (0.239)	0.136 (0.229) -0.030 (0.916) 0.307 (0.197) -0.013 (0.939)	0.179 (0.108) 0.061 (0.826) -0.186 (0.433) -0.104 (0.538)
〈自己評価・目標〉 頭の良さの自己評価 外見の自己評価 将来の仕事の目標の明確さ	0.058 (0.696) 0.152 (0.269) 0.084 (0.059)	0.057 (0.688) 0.107 (0.423) 0.211 (0.011)**	0.140 (0.333) 0.098 (0.468) 0.036 (0.685)	-0.029 (0.840) 0.173 (0.204) 0.230 (0.006)***	-0.145 (0.320) 0.063 (0.630) 0.339 (0.000)***	0.163 (0.256) -0.110 (0.336) 0.029 (0.721)
〈プロフィール他〉 学年 身長 通学時間 家族同居ダミー 体育系サークル 文化系サークル 睡眠時間 性別(男性ダミー)	0.056 (0.760) 0.034 (0.166) 0.361 (0.014)** -0.219 (0.570) -0.122 (0.735) 0.398 (0.385) 0.317 (0.043)** -0.593 (0.059)	-0.090 (0.604) 0.000 (0.999) 0.367 (0.010)*** -0.015 (0.969) (0.207) (0.548) 0.941 (0.033)** 0.191 (0.206) -0.031 (0.939)	0.123 (0.492) 0.024 (0.334) 0.320 (0.027)** -0.040 (0.915) -0.147 (0.683) 0.511 (0.265) 0.333 (0.032)** -0.374 (0.363)	-0.124 (0.480) 0.020 (0.404) 0.407 (0.005)*** -0.269 (0.482) 0.162 (0.641) 0.693 (0.120) 0.202 (0.187) -0.405 (0.326)	-0.348 (0.045)** -0.039 (0.103) 0.209 (0.135) -0.021 (0.953) 0.655 (0.059)* 1.033 (0.020)** -0.143 (0.342) 0.542 (0.177)	0.039 (0.816) -0.033 (0.164) 0.085 (0.537) 0.357 (0.325) 0.103 (0.760) 0.643 (0.131) 0.077 (0.602) 0.624 (0.118)
サンプル数 疑似R2乗 AIC 対数尤度	91 0.282 3.421 -123.678	91 0.156 3.856 -145.451	91 0.247 3.534 -129.814	91 0.228 3.605 -133.008	91 0.142 4.076 -155.460	91 0.068 4.782 -186.567

(出所)筆者作成

目標との間には強い関係がみられた。第5に昨日の幸福度とアルバイトの有無との間には有意な関係があった。

次に経済学部生と他学部の学生を比較すると、①授業への評価が低い、②通学時間が長く、しかも長いほどふだんの幸福度が高い、③他の要因をコントロールすると、経済学部生であること自体が高い幸福度と関係する、傾向があった。

上述した内閣府（2011）「幸福度に関する研究会報告」（参考資料1-2）では、幸福度を判断する上で重要と考えている要因を年代別に比較している（表7）。20～24歳では男女とも「友人」「家族」などの要因が、25歳以降ではもっとも重要となる「家計」よりも高い順位にある。学生を対象にした本稿の分析でも、生活満足度についての岩田（2015）の指摘同様に、学生の幸福度にとって特に人間家計が重要である傾向がみられた。また、授業については「有用性」よりも面白さがふだんの幸福度と強い関係があった。経済学部生は大学の授業への評価が低い一方、幸福度の説明変数としては、授業の面白さや有用性は重要でなかった。ただし、経済学部生については、①サンプルの過半が2年生（全体で62%、経済学部で67%）であり、面白いかどうかの評価の対象が専門科目よりも教養科目の授業である可能性が高いこと、②授業が

表7：年齢階層別にみた自分の幸福度を判断するのに重視する項目

性別	順位	年齢	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	
男	1位		友人	友人	家計	家族	家計	家計	家計	家計	健康	健康	健康	健康	健康	
	2位		自由時間	家族	家族	家計	家族	健康	健康	健康	家計	家族	家計	家族	家族	
	3位		精神的ゆとり	生きがい	就業	健康	精神的ゆとり	家族	家族	家族	家族	家計	家族	家計	家計	
	4位		家族	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	健康	精神的ゆとり	就業	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	
	5位		生きがい	家計	健康	就業	就業	就業	精神的ゆとり	就業	就業	就業	就業	自由時間	自由時間	自由時間
女	1位		友人	家族	家族	家族	家族	健康	健康	健康	健康	健康	健康	健康	健康	
	2位		家族	精神的ゆとり	家計	家計	家計	家族	家族	家族	家計	家族	家族	家族	家族	
	3位		精神的ゆとり	友人	友人	健康	健康	家計	家計	家計	家族	家計	家計	家計	自由時間	
	4位		自由時間	健康	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり	自由時間	自由時間	友人
	5位		健康	家計	健康	友人	就業	就業	就業	就業	就業	就業	就業	精神的ゆとり	精神的ゆとり	精神的ゆとり

（出所）内閣府（2011）「幸福度に関する研究会報告」参考資料1-2
-他に「余暇」「仕事の充実感」「職場」「地域」などが候補。

面白くないから期待が低くなった（幸福度との関係が弱い）のか，もともと他の理由で授業にあまり期待していない（幸福度との関係が弱い）のか，この検証からは因果関係を同定できていないこと，に留意しておきたい。

最後にアンケートの教育上の効果として，①自分の幸福度およびそれに関連する要因を考えてみる機会が得られた，②定性的な傾向を定量化してアンケートを実施し，③その分析の中で相関・回帰分析といった計量的手法を利用する経験を得る，などがあったことを付記しておく。なお，基礎演習Ⅱの受講者（24名）に対して，「面白い授業」「役に立つ授業」の内容について筆記式のアンケートをとった。結果については資料Ⅱを参照されたい。

もちろん，本稿はあくまでも試論であり，①他の要因，例えば，「スマホゲームをよくやるか」「利他的な行動をとっているか」と関連した説明変数を含めて分析する，②ふだんの幸福度，昨日の経験，人生の意味（*eudaimonia*）の3つをより明確に分ける，など今後にもけて多くの課題があることは言うまでもない。

謝 辞

筆者は程島二郎先生が名古屋市立大学在職中，研究室が隣り合わせであったこともあり，大変お世話になった。改めて深く感謝し，ここに寄稿するものである。

参考文献

- Diener, Ed, John Helliwell and Daniel Kahneman, (eds.) 2010, *International Differences in Well-Being*, Oxford University Press
- Dolan, Paul, Richard Layard and Robert Metcalfe, (2011) *Measuring Subjective Wellbeing for Public Policy: Recommendations on Measures*, Centre for Economic Performance, London School of Economics and Political Science
- Easterlin Richard A., (1974) "Does Economic Growth Improve the Human Lot? Some Empirical Evidence". In David, P. A, and W. R. Melvin (eds.) *Nations and Households in Economic Growth*, Academic Press, New York, USA, pp. 89-125.
- Graham Carol, (2012) *The Pursuit of Happiness: An Economy of Well-Being*, Brookings Institute, (多田洋介訳 (2013)『幸福の経済学』日本経済新聞社)
- Helliwell, John F., Richard Layard, and Jeffrey Sachs, (2015) *United Nations World Happiness Report 2015*, United Nations
- 伊藤正憲, (2013)「幸福のパラドックスについてのノート」, 京都女子大学現代社会研究, pp. 119-130
- 岩田考, (2015)「大学生の生活満足度の規定要因—全国26大学調査から」, 桃山学院大学総合研究所紀要 第40巻第2号, pp. 67-85
- 内閣府, (2011)「幸福度に関する研究会報告」
- 大竹文雄・白石小百合・筒井義郎, (2010)『日本の幸福度—格差・労働・家族』, 日本評論社
- 岡部光明, (2012)「幸福度等の国別世界順位について：各種指標の特徴と問題点」, SFC ディスカッションペーパー 2012-004
- OECD, (2011) *OECD Better Life Index*
- OECD, (2013) *OECD Guidelines on Measuring*

Subjective Well-being

筒井義郎・大竹文雄・池田新介, (2009) 「なぜあなたは不幸なのか」大阪大学経済学, 58(4) P. 20-P. 57, 大阪大学社会経済研究所
吉武尚美 (2011), 「大学生の生活満足度の時間的変

化と楽観性ソーシャルサポート, ライフイベントの関連: ライフスタイルと社会経済的要因を統制して」お茶の水女子大学グローバル COE プログラム 「格差センシティブな人間発達科学の創成」Proceedings

〈資料 I〉 アンケート質問文 (全問)

1. あなたの現在の学年を選択してください
2. あなたの学部を教えてください
3. あなたの身長は何 cm でしょうか. 回答欄に入力してください
4. あなたの通学時間はどのくらいでしょうか
5. 現在大学には家族の所から通っていますか, それとも下宿・寮から通っていますか
6. ふだんのあなたはどの程度幸福だと思いますか. 非常に幸福を 10 点, 非常に不幸を 1 点として, 何点ぐらいかにあてはまるか, 1 つ選んで答えてください
7. 家族のうち少なくとも 1 人と夕食を食べるのは, 週に大体何回ですか
8. 1 万円を貸してくれと言われたらすぐに貸せる友人が何人いますか
9. 以下の AKB48 卒業生のうち, あえて最も成功している人を 1 人あげるとすると誰でしょうか
10. 学内・学外を問わずサークルや部活に入っていますか. 以下から 1 つだけ選んでください
11. あなたは将来, ご両親のような家庭を築きたいと思いますか
12. 大学の授業の内容は将来役に立つと思いますか
13. 大学の授業の内容について面白い思ったことはどのくらいありますか
14. 入学してから現在までの GPA はどのくらいですか
15. 最近 1 ヶ月の 1 日あたり平均睡眠時間はどのくらいですか
16. あなたは周囲の同年代の人と比べて, 頭が良いと思いますか
17. あなたは周囲の同年代の人と比べた場合, 外見 (容貌や服装など) が優れていると思いますか
18. 以下の人 (グループ) のうち, もっともオワコン化しはじめているのは誰 (どれ) でしょうか
19. 現在, つきあっている異性はいますか
20. 親からの縛り (拘束) は厳しいですか
21. 過去 1 ヶ月, 平均すると週に何回くらいアルバイトをしていますか
22. 今やっているアルバイトから, やり甲斐・満足感を感じられますか (アルバイトをやっていない人は 7 を選択してください)
23. (小遣い・バイト代など) 自分のために好きに使えるお金は 1 ヶ月にどのくらいですか (学費・下宿代・生活費は除きます)
24. 将来どんな仕事に就きたいかという目標は明確ですか
25. 最近 1 年以内の自分で買った買い物のうち, 一番高価な物の値段はいくらでした
26. 小さい頃から今日までの人生は楽しかったですか, それとも苦しかったですか. 非常に楽しかったを 10 点, 非常に苦しかったを 1 点として何点ぐらいにあてはまるかを 1 つ選んでください

(以下次葉)

27. では、昨日はあなたにとって愉快的な日でしたか。それとも不愉快的な日でしたか。非常に愉快を10点、非常に不愉快を1点として何点ぐらいにあてはまるかを1つ選んでください
28. 入学した年（センター試験直前）の1月1日時点で、あなたにとって名古屋市立大学（在学している学部）は第何位の志望校でしたか
29. 性別を教えてください

〈資料Ⅱ〉

2015年12月に基礎演習Ⅱの受講生24名（経済学部2年生）に対して、「面白い授業とは」、「役に立つ授業とは」というアンケートを行った。具体的には「皆さんが考える「面白い」授業にあてはまるのは以下のどれですか。1を全く当てはまらない、5を非常に当てはまるとして5段階の数値を書き入れてください」として、前者については11項目、後者については9項目の候補をあげて数値を書かせた。その回答結果（23名の平均値）を表8にまとめている。要約すると「面白い授業」については、・わかりやすい授業、・知的好奇心をわき上がらせる授業、・知らないことを教えてくれる授業、・先生が親しみやすい授業、の4項目が4以上の高い評価であった。「役に立つ授業」については、・エクセルの知識が勉強できる授業、・発表（プレゼン）の機会がある授業、・就職に役に立ちそうな授業、・資格試験の勉強ができる授業が3.94以上の評価であった。反対に、・ゲストスピーカーなど学外の人のお話を聞ける授業、はどちらでもあまり評価が高くはなく、・発表（プレゼン）の機会がある授業も「面白い授業」としては評価されていなかった。

表：面白い授業・役に立つ授業のアンケート結果

面白い授業とは		役に立つ授業とは	
わかりやすい授業	4.24	グループワークなど自分たちで何か作業をする授業	3.65
知的好奇心をわき上がらせる授業	4.65	英語など語学が勉強できる授業	3.94
グループワークなど自分たちで何か作業をする授業	3.35	エクセルの知識が勉強できる授業	4.53
復習が必要な授業	1.94	発表（プレゼン）の機会がある授業	3.94
予習が必要な授業	1.82	専門科目の授業	3.41
発表（プレゼン）の機会がある授業	2.71	教養科目の授業	2.94
専門科目の授業	3.29	資格試験の勉強ができる授業	4.00
教養科目の授業	3.18	就職に役に立ちそうな授業	4.76
知らないことを教えてくれる授業	4.18	ゲストスピーカーなど学外の人のお話を聞ける授業	3.12
先生が親しみやすい授業	4.12		
ゲストスピーカーなど学外の人のお話を聞ける授業	2.76		

(1を全く当てはまらない、5を非常に当てはまるとして書き入れた数値の23名の平均値)